



自ら立ち ともに 未来を拓く生徒

新川西中学校だより

令和7年度卒業式号

3月13日(金)

通算439号

HP アドレス : <https://www.shinkawanishi-j.sapporo-c.ed.jp/>

卒業生の門出に当たって

校長 相沢 克明

保護者及び地域の皆さま、日ごろから本校の教育推進に対し、御理解・御協力・御支援をいただきありがとうございます。このたび、3月13日に「第39回卒業証書授与式」を挙行し、晴れて、154名の卒業生が卒業証書を手に本校を巣立ちました。以下、当日の学校長式辞を共有させていただきます。

札幌市立新川西中学校39期生の皆さん、卒業おめでとう。一人一人と顔を合わせ、直接、卒業証書を渡し終えた今、私には、中学校生活で立派に成長した皆さんの姿がとてもまぶしく感じられます。そんな皆さんの旅立ちの日に、PTA会長 佐々木幸江様をはじめ役員の皆様、新川西パートナー校の各校長先生、学校評議員の皆様など本校にゆかりのある方々の御臨席を賜りました。御来賓の皆様、御多忙な中、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん。本日、中学校生活最後の授業となりました。ここで、一つ問いを投げかけてみます。「人に迷惑をかけることは、悪いことでしょうか」

人に迷惑をかけてはいけないということは、当たり前のことです。とはいえ、人それぞれ感じ方に違いがある中、絶対に迷惑をかけずに何かをやりきることは可能でしょうか。迷惑をかけていないと思っても、相手にとっては、迷惑だったということもあり得ますし、その反対に、これは迷惑になるのではないかと考え始めたら、結局、何も動けなくなるということもあり得ます。そう考えていくと、実は「人に迷惑をかけてはいけない」ということは、絶対的な話ではなく程度の問題ということになりそうです。そもそも、人が集団で生活するということは、大なり小なりお互いに迷惑をかけあうことであり、常に、自分は、何らかの迷惑をかけているという謙虚さと、それを受け入れてもらっているという感謝の気持ちを忘れず、その程度を見極めながら行動することこそが大切ではないかとも思えてきます。

これは一例にすぎませんが、実は一見、当たり前だと思われていることも、本気でそれを実現しようと考え始めると、そう簡単な話ではなく、考えを巡らせ考え抜くことが求められます。そして、考え抜くためには、その武器となるものを得るために学び続けることが大切となります。私は、これまでの人生経験から、この学び続けていくこと自体が、幸せな人生を自らの手で切り拓いていくことそのものだと思信しています。皆さん、是非、学び続ける人であってください。

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、おめでとうございます。本日をもって、9年間の義務教育が終了します。18歳の成人までは、あと3年と、まだまだ子育ては続きますが、一旦の区切りの日であろうかと思えます。ここまで本当にお疲れさまでした。この3年間、本校を信頼し、日々の教育活動に御理解と御協力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

それでは、式辞を締めくくるに当たり、私から卒業生の皆さんへの思いを託し、この詩を贈ります。

僕らはきっと待ってる 君とまた会える日々を センタープラザのさくらの下 手を振り叫ぶよ
どんなに苦しい時も 友達同士支え合い 挫けそうになりかけても 頑張る君たちがいた
霞みゆく景色の中に あの日の唄が聴こえる
「あなたへ」「あなたへ」 今 歌いきれ 心の火を燃やせ 「成吉思汗」
さらば諸君 旅立ちの刻 変わらないその想いを 今



卒業生答辞 卒業生代表

路肩の雪も姿を消し始め、春の陽気を感じる季節となりました。

不安と希望を抱き入学したあの日から月日は流れ、今日、私たち154名はこの新川西中学校を卒業します。たくさんの方々に見守られている今日というこの良き日は、私たちにとって、大切な一日です。

中学生生活は、全力で走り抜けた三年間でした。これまでを振り返ってみると、日々の出来事がたくさん思い出されます。多くの仲間と過ごし、多くのことに挑戦し、失敗と成功を繰り返してきました。想像していたよりもとても短く感じており、この新川西中学校での生活も今日で最後と思うと、とても寂しい気持ちでいっぱいです。

私はこの三年間、何事にも本気で取り組むことができました。特に学校行事では、三年間で多くのことを経験し、個人としても学年としても力をつけることができました。行事がない学校も増えてきているこの時代に、行事に全力で取り組める環境があったことは本当に恵まれていると思います。

ほかにも、授業や部活動、委員会活動など、充実した毎日を送ることができました。これは、先生方が私たちのことを考え、私たちのために行動してくれたからだと思います。そんな先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

私たちは今日、これまでの思い出を胸に一人ひとりが新しい場所へ旅立ちます。今までの経験は、これからの挑戦の、力になるものばかりです。そして、思い出は心の支えになると思います。

在校生の皆さん。私たち卒業生のために装飾やセレモニーをしてくれて本当にありがとうございました。そして、これから勉強がより難しくなったり、ほかの活動との両立が大変になったりするかもしれません。苦しいときは、周りにいる人に助けってもらったり、自分の楽しみを見つけたりしてください。きっとそれが支えになります。卒業生一同、皆さんのご活躍を心より応援しています。

最後になりますが、どんな時でも私たちのことを応援し、一番近くで支えて下さった保護者の皆さま、ここまで育ててくださり本当にありがとうございました。これからもたくさんお世話になると思いますが、よろしく願います。

新川西中学校のより一層のご発展を願い、全ての人への感謝の気持ちを込めてお別れの言葉とさせていただきます。

在校生送辞 在校生代表



冬の寒さも少しずつ和らぎ、春の訪れを感じる季節となりました。新川西中学校を卒業する3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

卒業の日を迎え、今皆さんはどのような気持ちでこの時を迎えているでしょうか。新川西中学校で出会った仲間や先生方との、たくさんの思い出がよみがえっていることと思います。

3年生の皆さんは、私たちにたくさんの姿を見せてくださいました。

学校祭では、限られた時間の中でも学年が一丸となり、高い完成度を追求する姿に感動しました。特に、迫真の演技で仲間を大切にすることの尊さを私たちに伝えてくれたステージ部門では、大きく胸を打たれたことを覚えています。何より、最後の学校祭を一人ひとりが全力で楽しむ姿に、私はあこがれを抱きました。また、合唱コンクールでは1つ1つの歌声が重なり合い、体育館いっぱい美しいハーモニーが広がりました。全クラス金賞という結果を聞いた時お互いをたたえ合う皆さんの姿から、仲間と心を合わせることの大切さや最後までやり抜くことの素晴らしさを学びました。「私たちも3年生のようになりたい。」そう思わせてくれました。

さらに、委員会活動では学校全体のために責任をもって行動し、私たち後輩を優しく導いてくださいました。はじめの頃は、分からないことも多く不安でしたが、先輩方のサポートのおかげで少しずつ自信が付き、様々なことに全力で取り組む勇気がわきました。先輩方との活動は私たち後輩にとって、かけがえのない思い出となりました。

どんな時も学校のことを考えて行動する皆さんの姿は、新川西中学校を支える大きな力であり、私たちが目標とする姿でもあります。

3年生の皆さんが受け継いできた伝統を、これからは私たちが繋いでいきます。学校生活の中で見せてくださった、仲間を大切にする姿勢や最後まで諦めずに努力する姿は、大きな手本となりました。まだまだ未熟な私たちですが、皆さんが示してくださった背中を思い出しながら、より良い新川西中学校を作っていきたいと思います。

いよいよ皆さんはこの学び舎を巣立ち、それぞれの夢を叶えるために進んでいくことと思います。その道は、楽しいことだけでなく悩みや壁にぶつかることもあるかもしれません。そんなときは、新川西中学校で過ごした3年間を思い出してください。仲間と共に高め合い、励まし合った日々が、きっとこれらの人生の中で皆さんを支える大切な力になるはずです。

どうか自分を信じ、それぞれの夢に向かって大きく羽ばたいてください。

最後になりましたが、皆さんの未来が明るく希望あふれるものになるよう、在校生一同、心より願っています。

これからの皆さんのご健勝とご活躍を心からお祈りし、お祝いと感謝の言葉とさせていただきます。